



Kamikawa Research Station



カボチャ栽培資料（促成用）

朝日アグリア株式会社 開発部 種苗開発課
2021年版

カボチャ栽培暦【地這栽培・栽培例】

月日	播種後日数	生育	圃場・薬剤散布
3月12日	-20 日		石灰・堆肥散布
3月22日	-10 日		元肥・殺センチュウ剤散布
			耕うん・畝立て
4月1日	0 日	播種 (6×6セルトレ育苗)	寒冷紗準備
4月8日	7 日		畝立て・寒冷紗準備完了 (定植1週間前に終わらせるのが 良いでしょう。支柱準備は定植後 でも作業はできません。)
4月15日	14 日	定植	
4月18日	17 日	株元灌水(定植後3-5日)	
※			※生育初期のうどんこ病の防除 に努める(抑制栽培では特に)。
5月1日	30 日～	つる直し (つるの向きを直す)	
5月1日	30 日～	1回目整枝・摘果 (株元の整枝)	
5月6日	35 日～	2回目整枝・摘果 (1回目と反対側から整枝する) (株元～マルチ上までの雌花は 摘花する)	※適宜、薬散を行う。
5月11日	40 日～	交配開始 (事前にハチの発注を忘れずに)	
5月21日	50 日～	余裕があれば主つる摘芯 (特に樹勢強い場合。基本的には 放任で良い)	
5月21日	50 日	交配終了	
7月10日	100 日～	果実試し切り、熟度確認	※降雨が続いた日直後の収穫は 避けましょう(貯蔵時の腐敗の原因 になります)。
7月15日	105 日～	収穫作業開始※ 収穫後、 風乾・キュアリング (2週間以上)	
7月30日	120 日～	出荷開始※	

朝日のカボチャ

ブランド名

プリメラ
Primera



特徴：安心して栽培できる、作りやすい品種

【特性】

- ・肥大性がよく、収量を上げやすい。
- ・減肥、省力栽培でも多収。
- ・雌花がよくつき、着果も抜群に良く、揃う。
- ・果実の果皮色が濃く、外観・中身とも優れる。

プリメラ ラインナップ紹介



プリメラ115

抜群の肥大性
安定多収
加工向き



プリメラ117

果皮色濃い
短節間で省力
すぐおいしい






プリメラクイーン




強粉質で多収
貯蔵性抜群

促成作・一般地・青果用
オススメ

プリメラ 品種特性比較表

品種名	特徴	玉サイズ	貯蔵性	その他
プリメラ115 	抜群の肥大性で、多収。甘味と粉質のバランスが最高。カット売りにも最適。	2.0kg以上の大玉種。	○	・中生品種 ・4-5玉サイズの収穫を狙う場合は50～70%の減肥が適する。
プリメラ117 	短節間で整枝作業が省力化可能。着果よく、多収性。甘味があり、早出しでおいしい。	1.8kg～2.0kg中心	○	・中早生品種 ・80%程度の減肥栽培が適する。 ・果色濃く、外観最高。
プリメクイーン 	糖化の遅いタイプで、貯蔵性抜群。粉質で食味も大変優れる。	1.8kg～2.0kg中心	◎	・中早生品種 ・施肥は標準量～10%程度増で多収となる。

プリメラシリーズ 食味の違い

品種名	肉質	食味の特徴
プリメラ115 	粉粘質	粉と粘の間で肉質のバランス良い 熟期をしっかりと守るのが大事 意外と日持ちする
プリメラ117 	粉質	とってすぐ甘くておいしい 粉質と甘味のバランスが良い 貯蔵性はクイーンの方が優る
プリメクイーン 	強粉質	貯蔵性抜群 糖化がはじまると甘みものって、とてもおいしい

プリメラ115の特徴 抜群の肥大性

プリメラ115は、3.0kg以上の大玉も狙える豊産種。用途に応じて施肥量・株間などで生育を調整する。

促成栽培・ 青果用	減肥、株間を詰める（株間35cm・ 1本整枝）
加工用	標準施肥。のびのび育てて大玉を 狙う。
抑制栽培	やや減肥、早めの着果で草勢を抑 える。

プリメラ115の立作り栽培



115・クイーンの特徴 草丈の低さ

- プリメラ115とプリメクイーンは、一般的な品種より葉柄が短く、一見すると草丈が低くみえる
- そのため、風に強く、葉柄が折れにくい



プリメクイーンの特徴 抜群の貯蔵性

試験データ (2015年、北海道)

品種名	粗反収	11月出庫調査				12月出庫調査
		貯蔵歩留	固形分	食味評価 (1弱→5強)		貯蔵歩留
	t/10a	(%)	(%)	粉質	甘味	(%)
プリメクイーン	1.7	96	26	3.5	2	65.0
対照A	1.3	90	21	2.5	3	22.7
対照B	1.5	95	28	3	3	25.9
対照C	1.4	94	28	3.5	3.5	38.9

プリメクイーンは12月時でも高い貯蔵性を示した

プリメラ117の特徴 短節間で省力

- プリメラ117は、生育初期の低温期は短節間で推移するため、整枝作業が片側からですむ。また、整枝作業を急がなくても繁茂しすぎない。



プリメラ117 栽培事例

2016年促成栽培（茨城）

【耕種概要】

- 圃場準備 3月17日～
- 施肥 レオグリーン特号 5袋 100kg/10a
 エコレット055 3袋 60kg/10a
- 栽植密度 畝間 3.2m × 株間45cm
- 播種 3月23日、定植4月8日、収穫7月11日
- 交配日 5月26日～6月1日（マルチ外4-5節）

プリメラ117 栽培事例

【収量結果】

反収 **2.7 t/10a** (推定) 対照味平 1.9t/10a (推定)

出荷分の重量比率 (個数)

サイズ		プリメラ		対照
		個数※	割合(%)	割合
3玉以上	3.0kg以上	60	9.2	0
4玉	2.5kg以上	120	18.5	20
5玉	2.0kg以上	300	46.2	18
6玉	1.5kg以上	130	20.0	18
7玉	1.5kg以下	30	4.6	18
8玉	1.0kg以下	10	1.5	14

4~6玉
で80%
越え

※一部譲渡した分を除く出荷個数

プリメラ117 栽培事例 (沖縄・抑制)

30ha超のカボチャ栽培面積の
大規模生産法人 (南大東島)

【耕種概要】 定植11月、出荷1月の沖縄の抑制栽培
800株/10a、初期の整枝以降は放任に近い栽培。

【収量結果】

反収 **1.5 t/10a** (聞き取り)

5-6玉中心、1月出荷で4,000円/10kg超！！

これまでの品種

対照品種 0.5t~1.5/10a (聞き取り)



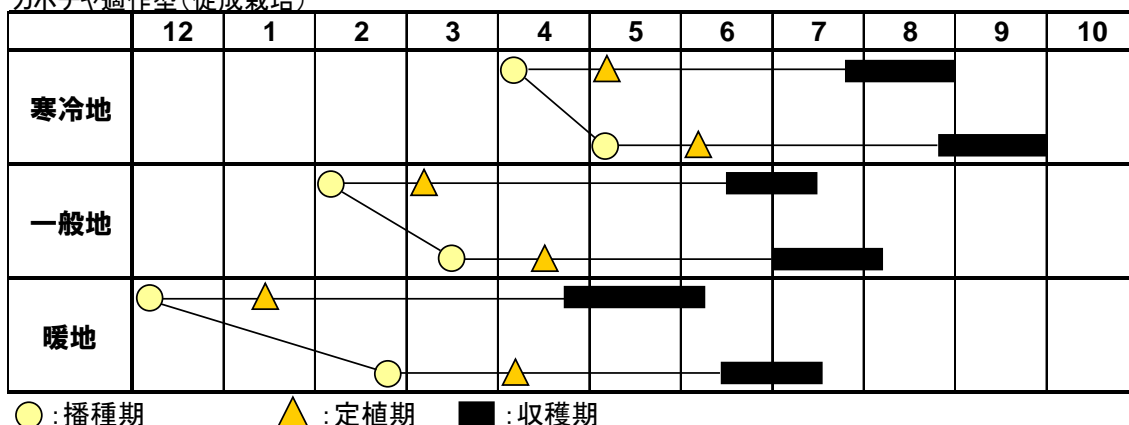
は種期と作型

は種時期は定植期から育苗日数（20日前後）を計算して決定します。

【促成栽培】販売単価の高い、7月下旬までの収穫を目標とする（中間地）。

【抑制栽培】8月播種、11月下旬以降の収穫で、単価の高い冬至以降の出荷が可能。

カボチャ適作型(促成栽培)



育苗方法

従来のポット栽培では、育苗面積が広く管理が大変。

根張りの強いプリメラは、セルトレイ育苗が可能。



■ 経済性の比較

育苗方法	作業性 (対ポット比)	コスト (対ポット比)
12cmポリポット苗定植栽培	100	100
セル若苗定植栽培	36	52

* 作業性: 労力時間の比較, コスト: 培土代の比較

プリメラの根張り



プリメラ



他社（早生系品種）

プリメラの方が根量が多い

低温期の生育例

定植後の低温で、他社品種は活着不良がありましたが、プリメラは順調に生育しています。

プリメラ

他社品種



セルトレイ育苗



セルトレイ育苗



セルトレイは発芽ムラが出やすいので、
しっかり灌水。

セルトレイ育苗（ペーパーポット例）



育苗日数（プリメラの場合）

ポット : 30日

セルトレイ : 15~20日

(本葉2.5枚が定植適期)

頭寒足温・頭乾足暖

カボチャ栽培は、苗半作です。

- 本葉 2 ~ 3 枚発生時に花芽の分化が完了します。
- 寒い時期には
 - 高温育苗（最低15℃）
 - 雄花が多くなる。
- 暑い時期には
 - 低温育苗（最低10℃）
 - 雌花が多くなる。

日 数	0	3	7 ~ 10	20	30	35 ~ 40
生 育	播 種	発 芽	鉢 上 げ	す ら し	馴 化	摘 心 定 植
地 温	25 ~ 30℃		18 ~ 20℃		20 ~ 25℃	
屋 気 温	午 前 中 : 25 ~ 28℃			午 後 : 20 ~ 23℃		
夜 気 温	20 ~ 25℃		18 ~ 20℃		14 ~ 15℃	
						10 ~ 12℃

頭乾足熱-徒長しない苗づくり-



徒長苗



良苗

発芽温度は30℃で3.5日が目安です。
高温時期には水のやりすぎに注意してください。
低温時期は、水温10℃以上の水で灌水してください。

直播きについて

大面積では直播きも選択肢のひとつ。

◆ 直播き時の注意 ◆

- ・ 曇天が2日続くタイミングの播種が安心
- ・ 催芽→曇天日播種も方法のひとつ
- ・ 欠株に備えて**予備苗を用意**しましょう
(全株数の10%分くらい)。

催芽の方法

催芽：少し発芽させておくこと。

◆方法◆

- ①30℃くらいのお湯（お風呂の残り湯など）に一晩浸漬
- ②濡れた布などに包んでビニル袋やタッパー等に入れる（乾燥を防ぐ）
- ③25℃に1日保つ
- ④発根を確認し、は種する



栽植密度と整枝方法

1本整枝 畝幅3m×株間40cm（10aあたり850本）

2本整枝 畝幅3m×株間60cm（10aあたり550本）

整枝方法	メリット・デメリット
親つる1本整枝	促成に適応。ハウスなど密植栽培向き。収量大。 栽培労力はかからない。
子つる2本整枝	整枝作業の手間はかかる。1本仕立てより収穫は1週間程度遅くなる。一般的な栽培。
子つる3本整枝	着果・果揃い良い。着果時期遅れ・小果多い。

・栽培労力軽減・早期出荷・収量増のために
1本整枝がオススメです。

プリメラの施肥設計（一般地）

【促成栽培】プリメラ115は肥大性が強いため、50～80%の減肥栽培が適する。プリメラ117は、草勢がやや強いため、施肥量是对えびす比で80～100%を目安とする。プリメラクイーンは、120%程度を目安とする。

■施肥量を目安

品種	草勢 5=強	窒素成分 Kg/10a	割合（対対照A） %
対照A	3.0	12	100
対照B	3.5	14	120
対照C	2.5	16	150
プリメラ115	3.0	10～12	80～100
プリメラ117	4.0	8～10	80
プリメラクイーン	3.0	12～14	100～120

リン酸は窒素とカリの1.5倍程度となるように施肥すると良い(要診断)。
元肥の例：N-8～10 P-12～15 K-8～10 kg/10a

エコレット(混合堆肥複合肥料)とは？

家畜糞・食品残渣堆肥などを有機原料として用い、その他の有機・無機原料と配合し粒状化した、資源の循環利用に貢献する新しい肥料です。

エコレットはどんな肥料か？

堆肥 + その他の無機/有機原料 = 一粒にした肥料



有機(堆肥) と 無機肥料 の良さを併せ持った肥料！

エコレット(混合堆肥複合肥料)とは？

エコレットの有機肥料としての効果を確認するため、コマツナを用いたポット連用試験を実施。

試験方法・結果詳細

【試験方法】

1/5000ワゲネルポットでコマツナを連作
(施肥N量20kg/10aで統一)

【調査項目】

1～3作目 収量調査

(草丈、生・乾物重量、吸収N)

4作目 跡地土壌化学性

5作目 跡地土壌化学性・作物品質(日持ち)



●エコレット連用区は、連用するごとに生育が旺盛になる傾向(⇒可給態窒素の供給等による効果と考えられる。)

●跡地土壌の分析においても、堆肥単体区で土壌pHがアルカリに傾き、化成肥料区で土壌酸性化・EC上昇の傾向に対し、エコレット区は変化が小さく、土壌バランスを維持しやすい肥料であるといえる。

施肥の要点と追肥について

【土壌改良(要土壌診断)】

は種15日前に堆肥・苦土石灰を圃場へ全面施用し、耕耘する。

堆肥：2～3 t 苦土石灰：80～100 kg/10a

元肥は種の約1週間前にほ場へ全面施用し、耕耘。

【資材と意義】

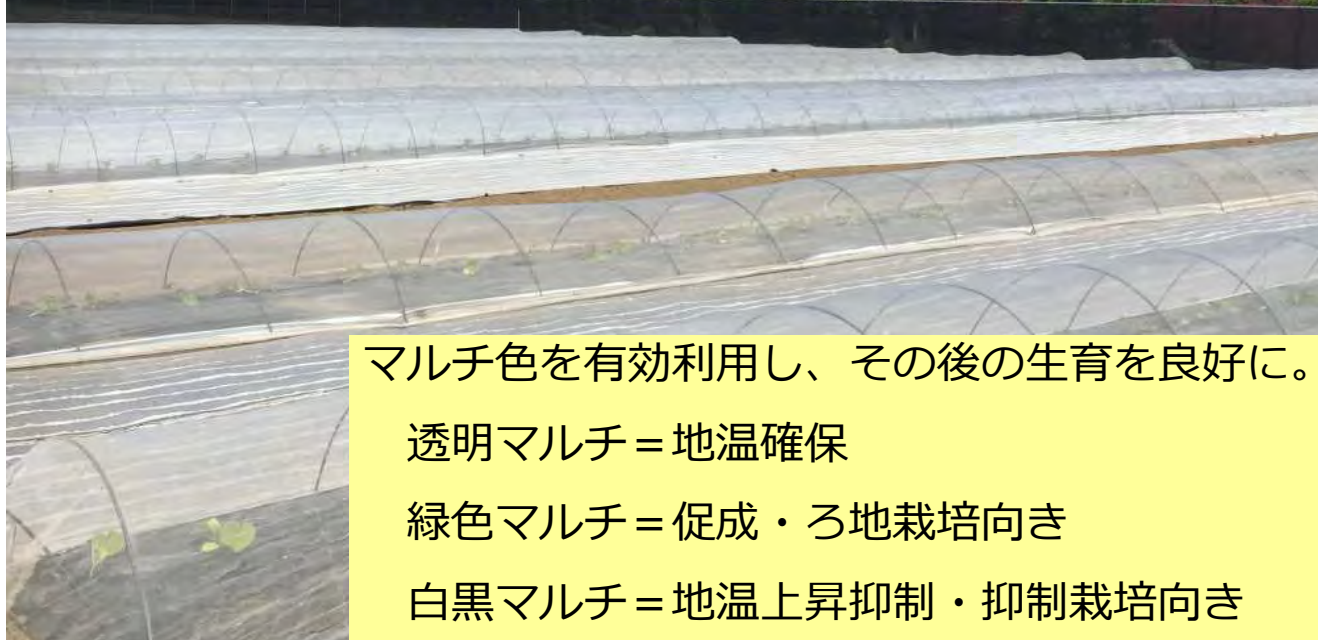
- | | |
|--------|--------|
| ● 堆肥 | 土壌の改良 |
| ● 苦土石灰 | 土壌酸度改良 |
| ● 窒素成分 | 植物の体作り |
| ● 燐酸成分 | 花芽の分化 |
| ● カリ成分 | 果実の品質 |

【追肥】

一度に施肥する量は、最大で窒素として2kg/10a未満にする。草勢が強くなりすぎないように注意。

ベッド作り

低温期では1週間以上前に
ベッド作りを行う。



マルチ色を有効利用し、その後の生育を良好に。

透明マルチ = 地温確保

緑色マルチ = 促成・ろ地栽培向き

白黒マルチ = 地温上昇抑制・抑制栽培向き

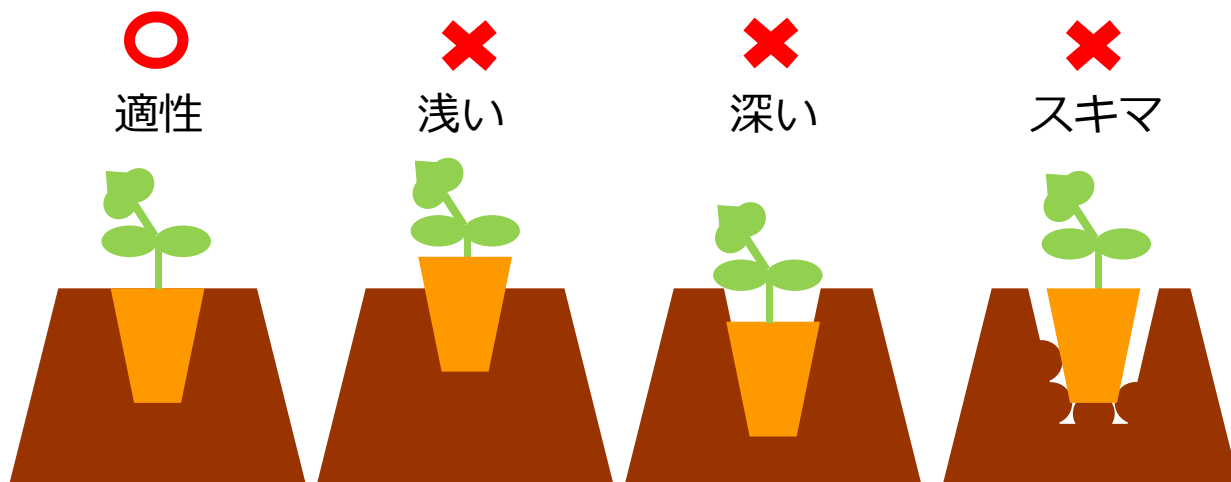
風対策 ソルゴー 防風ネット利用



ソルゴーは、定植の2-3週間前には種

定植の方法

- ベット内の地温は最低12～14℃必要です。
- 晴天が2～3日続く午前中に定植します。
- 植えこむ深さに注意し、スキマのないように定植。



定植の方法

風の強い地域では、株を風向きと逆に倒して植えると植え痛みが少ない。



定植に便利

定植の方法

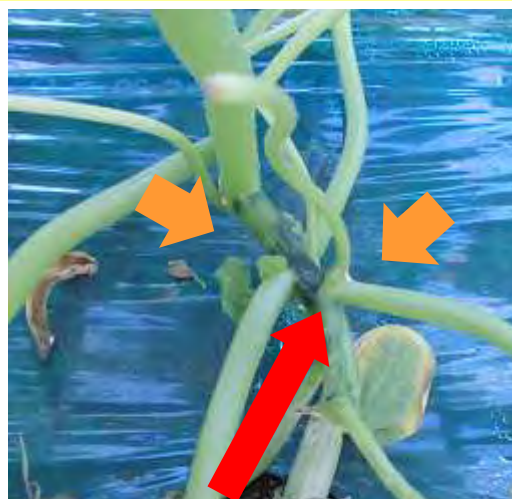


北海道で普及中

定植も機械化になりつつあります。
1日=1~2haの定植が可能。

整枝方法（雄花を取らない！！）

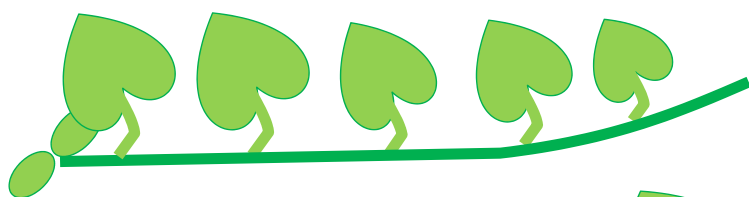
株元整枝（2回くらい）→ 着果後放任
株元に雌花あれば摘果



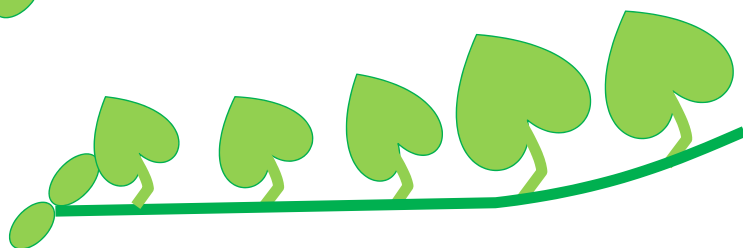
注意：雄花を取らない！！！！

草勢管理：理想的な葉の大きさ

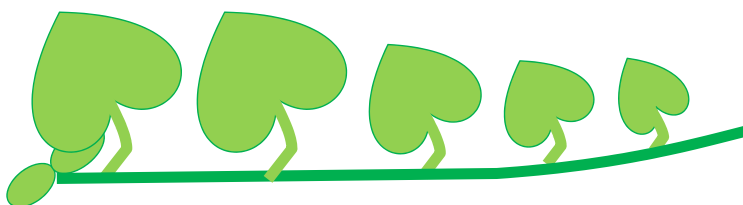
樹勢の判断



◎ 葉の大きさ・高さが同じ（理想的）



○ 最初小さく、後が大（一般的）

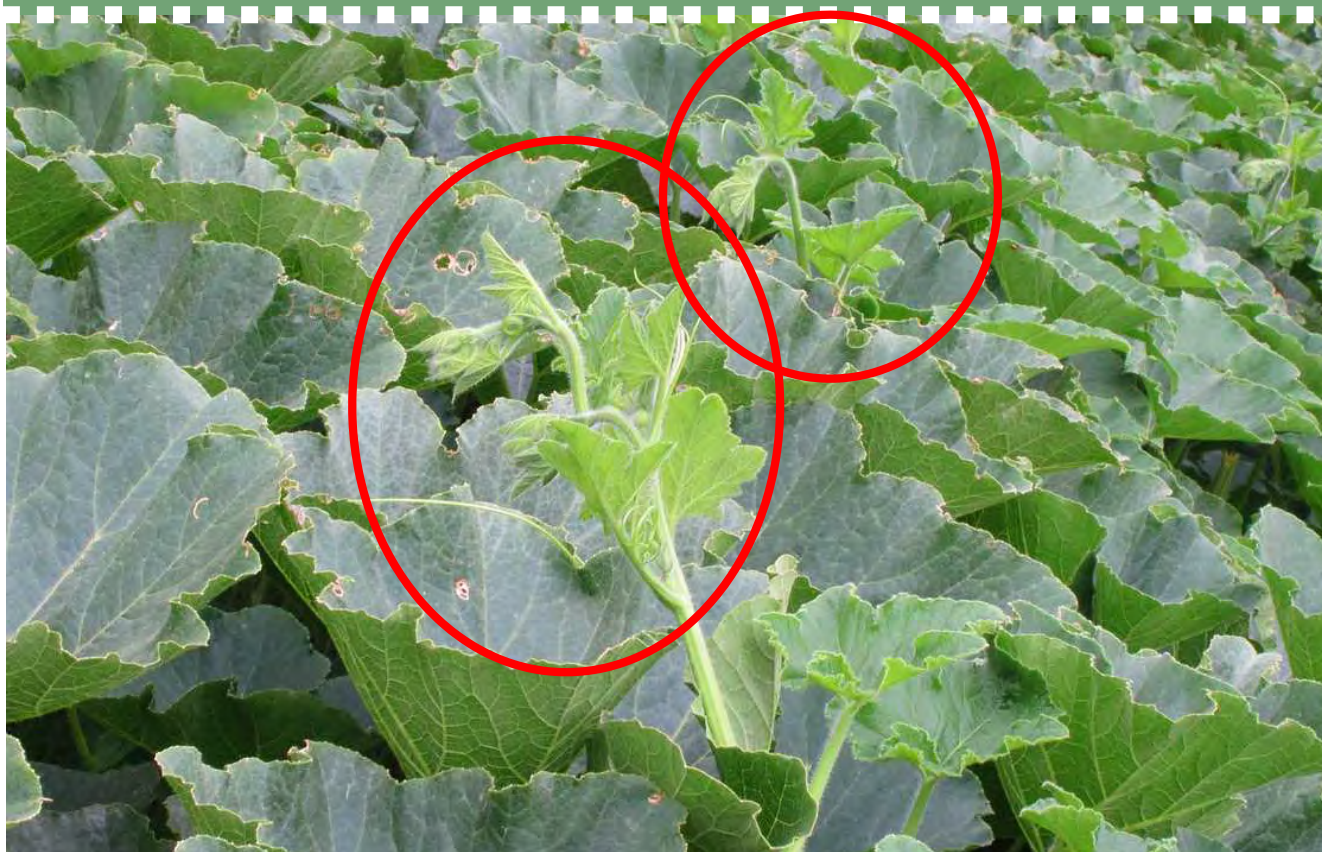


× 最初大きく、後が小

理想的な葉の大きさ・草勢



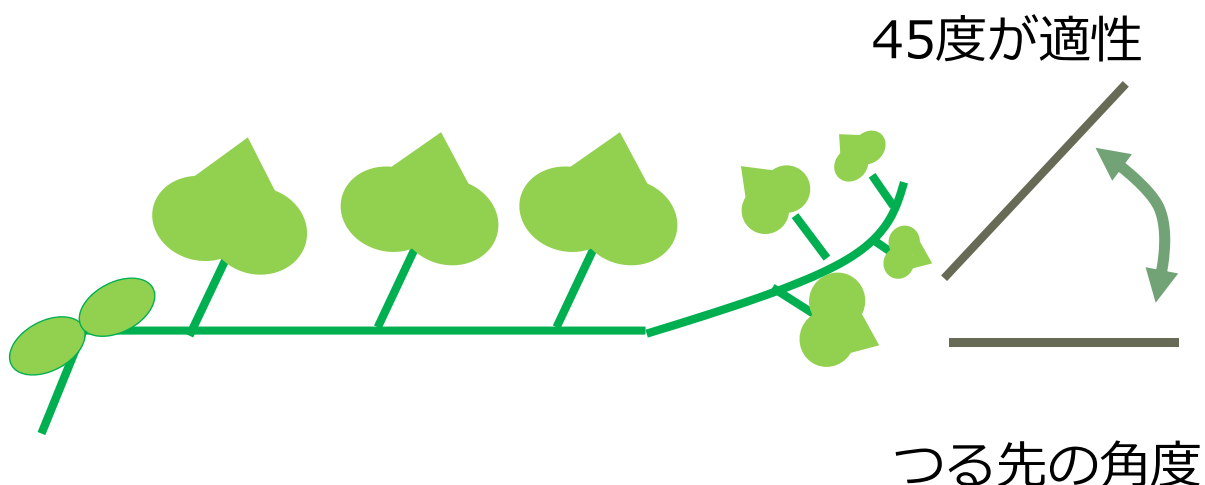
草勢が強い場合・側枝が繁茂



草勢が弱い場合 -肥料切れ-



草勢と追肥 草勢の判断の仕方



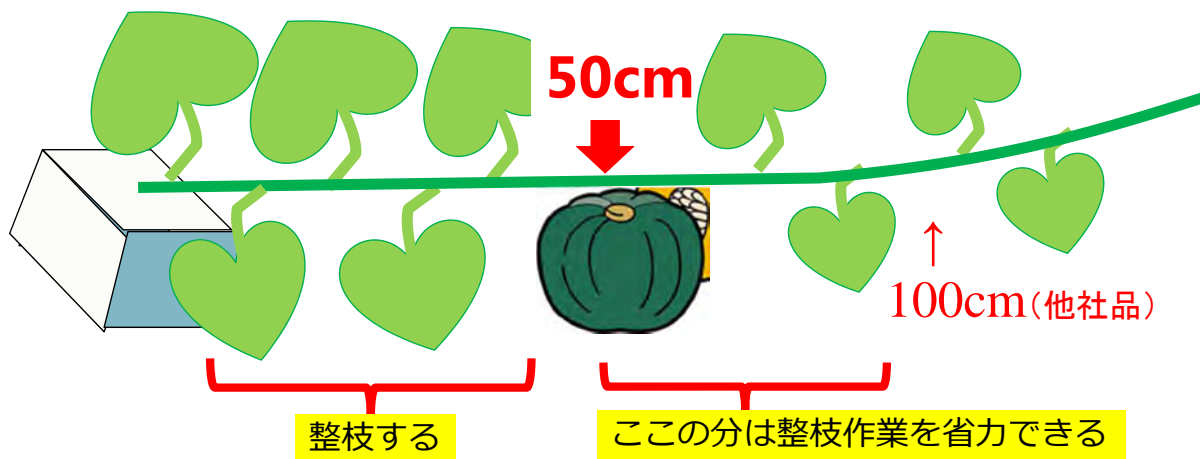
【追肥】

一度に施肥する量は、最大で窒素として**2kg/10a未満**にする。草勢が強くなりすぎないように注意。追肥は化成肥料で。緊急時は葉面散布も検討。

草勢の判断の仕方(適正)

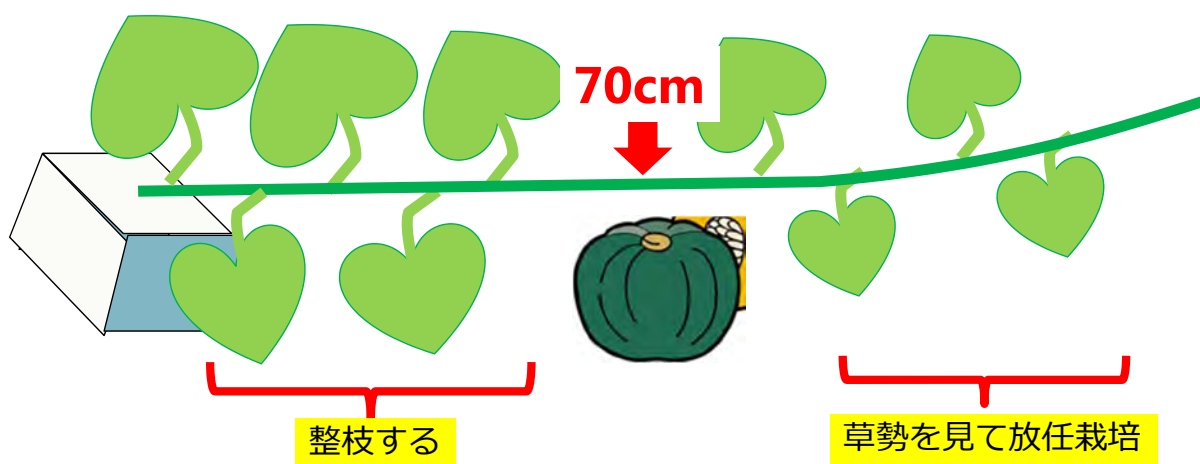


着果節位と整枝



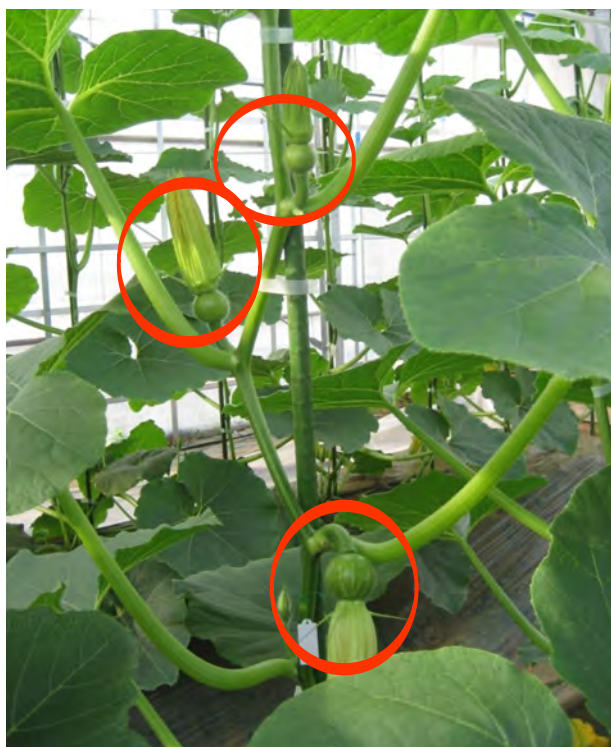
- 株元から50～70cmの位置に着果。
(その分の芽かきを省力できる。)
- 株元までは整枝を行う。
- つる先は放任栽培でも良い
(余裕があれば草勢をみて整枝する)。

草勢が弱い時の着果節位を上げる



- 草勢が弱い時には、植物の体を作って交配へ
- 着果節位置を70cm以上に上げる。
- 早めの追肥と葉面散布で玉肥大の促進。
- 無理な低段着果は、変形化と品質低下のため避ける。

抜群の雌花着花性



プリメラは花粉量が多い！



他社品種

他社品種

他社品種

プリメラ115



交配について

露地栽培の場合、基本的にハチが交配してくれます。

○あると安心ミツバチ箱（17,000円くらい/箱・30a）

ハチの飛来が少ないとき、動きがにぶいとき、人工交配を併用（♂花1花で♀3-5花くらい着果可）

注意：その日咲いた花しか使えない

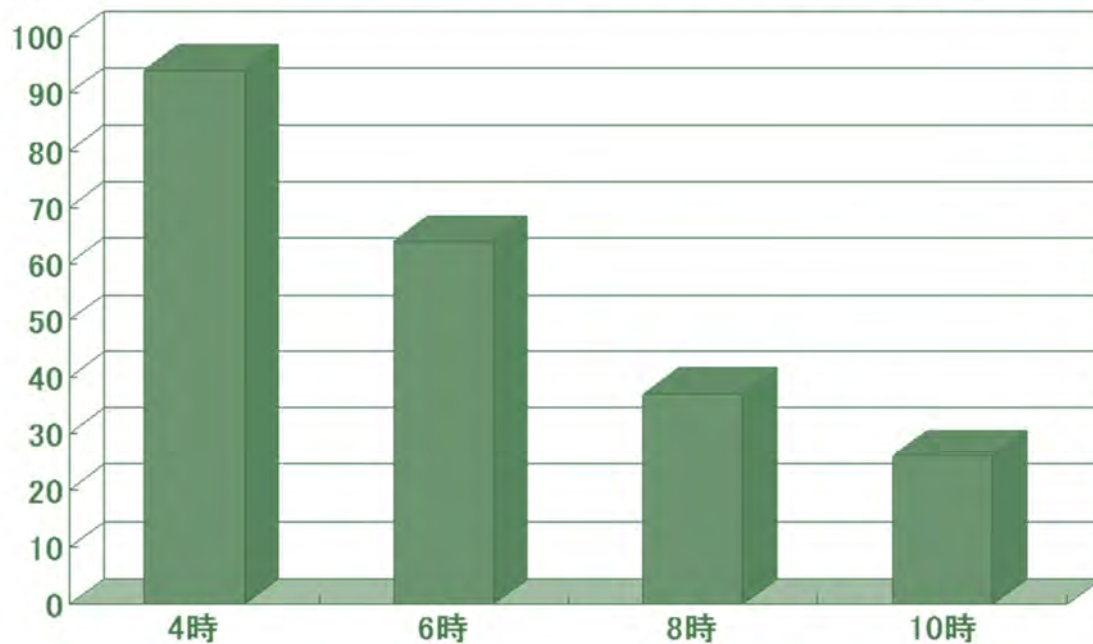


低温や雨で花粉が出ない場合



前日に雄花を摘み取り室内で保管。当日に使用
※バケツの底に水を入れて、室温で一晩保温。

花粉稔性と着果率について



→早朝ほど、着果率（受精率）が高い！

変形果原因



ウイルスによる影響



花粉不足の変形果

左側 花粉がつかない
交配時の花粉が少ない

右側 花粉がしっかりと
ついて十分に種子が入
っている。

- ・花粉が柱頭にまんべんなく交配されていない場合 (低温・高温・降雨の影響)
- ・ウイルスなどの病害の感染(虫などの防除策)
- ・早目の玉しきの影響。
- ・早目の変形果の摘果の実施。

プリメラの特徴 着果揃い



着果揃い
抜群！

試作した農家さんのコメント
『着果がそろい、作業がしやすくよかった。
果実の皮の色も濃く、単価も良かった。来年
もぜひ作りたい。』



皿敷きとタイミング

皿敷きで色づきがよくなり、秀品率が上がります

【注意】 交配直後につるを動かしたり、刺激を与えると**果実落下の原因**に。果実がある程度肥大してきたタイミングで皿敷きをしましょう。



早い



大丈夫

皿敷きとプリメラ

プリメラは果梗部が
長くて細いので、

皿敷きしやすい！

つる傷つきにくい！

収穫しやすい！



果焼け対策

直射日光が果実にあたると腐敗やクリスタルの原因となります。早めの対策をお願いします！



幅広のクラフト
テープが便利

果焼けによる
クリスタル

うどんこ病



うどんこ病発生後期



うどんこ病・初期発生

収穫間際には必ず
うどんこ病が発生。
予防薬で事前対策。

炭そ病・つる枯病（果実腐敗）対策

【栽培中】

- 高畝栽培・排水対策を行う。
- 敷藁から感染することもある。果実を地面から離すようにする。
- 収穫前に適正農薬の散布。

【収穫後】

- キュアリングをしっかりとる。

【その他】

- 多肥栽培は控え、苦土石灰などでpHを調整する（**病害対策は土づくりから！**）。



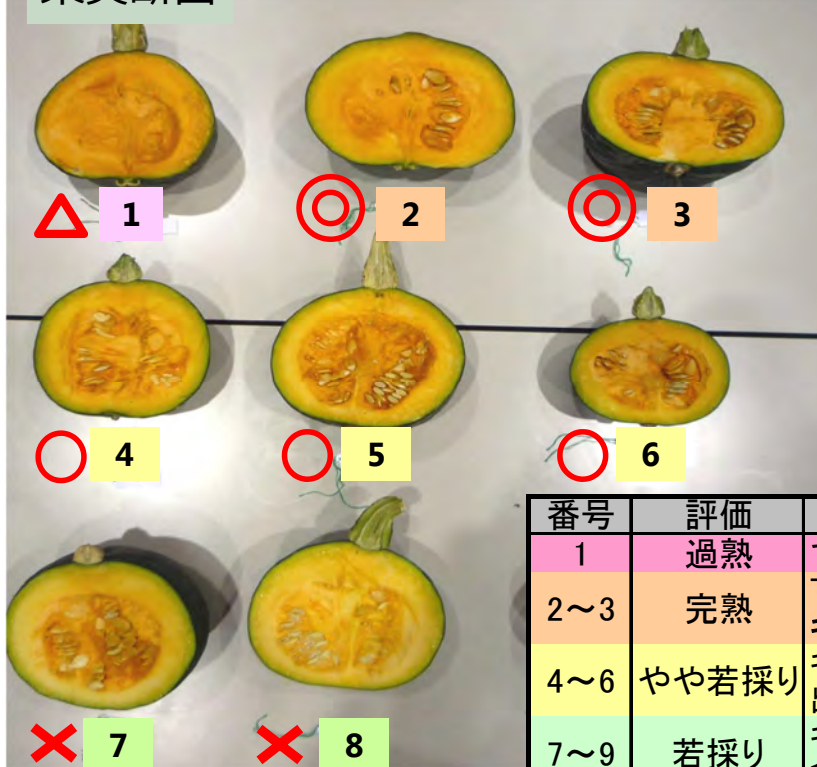
収穫時期の判断

- 交配日数**40日～**（**積算温度800℃～**）で試し切り
- 種子の充実度の確認
- コルク化が50パーセント
- 果実表面の照りがなくなってくる。

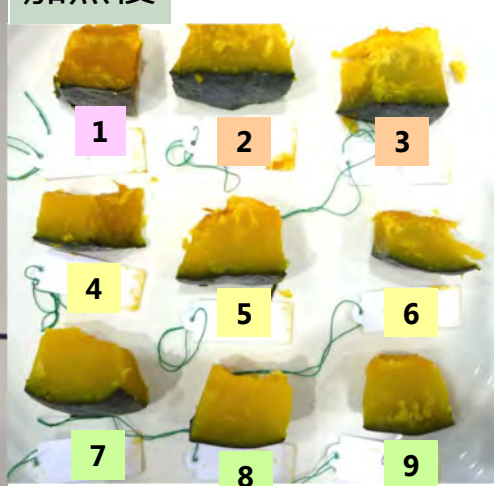


収穫の目安 ～若どり、ダメ、ゼツタイ～

果実断面



加熱後



番号	評価	状態
1	過熟	でんぷん量が減少し始めている。
2～3	完熟	でんぷん量が最大値に達しているため、キュアリング後非常に食味が良くなる。
4～6	やや若採り	キュアリングすることで食味を向上させて出荷可能。
7～9	若採り	キュアリングして出荷可能だが、食味は向上しにくい。

収穫時のポイント

- 果実の水分が減少する午後から行う。
- 降雨が続く日の収穫はなるべく避ける
(つる枯れ病菌による腐敗の防止)



キュアリングと風乾について

キュアリング = 一定の温度下で、傷口の修復をさせることと、熟成させ熟度を上げること(追熟)を併せていう。

風乾は、風通しの良いところに保管して、水分をじっくり蒸散させること。

早出し出荷のとき、熟度が足りない場合は、高温キュアリングと風乾をして出荷時期を調整。



風乾とキュアリング



- ・ 果実の水分を乾燥させ、熟成させてうまみを凝縮する。
- ・ カボチャを積みすぎると効果が弱い、また腐敗することもあるので**2~3段とする**。
- ・ 扇風機などを使うのも良い。
- ・ 低温時期や厳寒期ではシートをかける。
- ・ **直射日光が当たらないように**。

風乾 -悪い例-



果実の積みすぎ。
中のカボチャが蒸れたり、腐敗の原因となる。

高温キュアリング 出荷を早めたい場合



貯蔵の条件

キュアリング・風乾が終われば、出荷or貯蔵

- ・ 温度10℃
- ・ 湿度70%以下
- ・ 通気（差圧通風など）
- ・ キュアリングをしっかりと行ってから

貯蔵適性には、品種特性の影響も大きい

出荷時のへたの加工



へたを長めに残して果実内への雑菌の侵入を防ぎます。



0.5-1cm残してカットしましょう（※出荷先にもよります）。

プリメラ
Primer

新登場!!!

色濃く美しい果皮色!

食欲をそそる果肉色!

とってホクホク貯蔵もできる

プリメラクイーン (AJ-116)

【特 徴】

- 1.果実は1.8~2.0kgの中玉種。特に玉は濃緑の偏円形で花落ちも小さい。
- 2.交配後45~50日で収穫できる中生種で肉質は強粉質で大変おいしい。
- 3.特に糖化の遅い品種で、長期貯蔵に適する。
- 4.葉柄は短く、葉折れ倒伏少なく風に強い。
- 5.雌花着生は株元から発生し、放任栽培でも着果は大変良く収量性が高い。
- 6.作型は広く、ハウス・トンネル・露地栽培または抑制栽培にも適する。



【栽培のポイント】

- 1.肥料は窒素成分で10a当り12~13kgとやや多めの管理とする。
- 2.雌花の着生は安定しており株元50cmから着果させるのが望ましい。
- 3.後半草勢が大人しくなると2番果がやや丸くなるので肥料切れしないようにする。

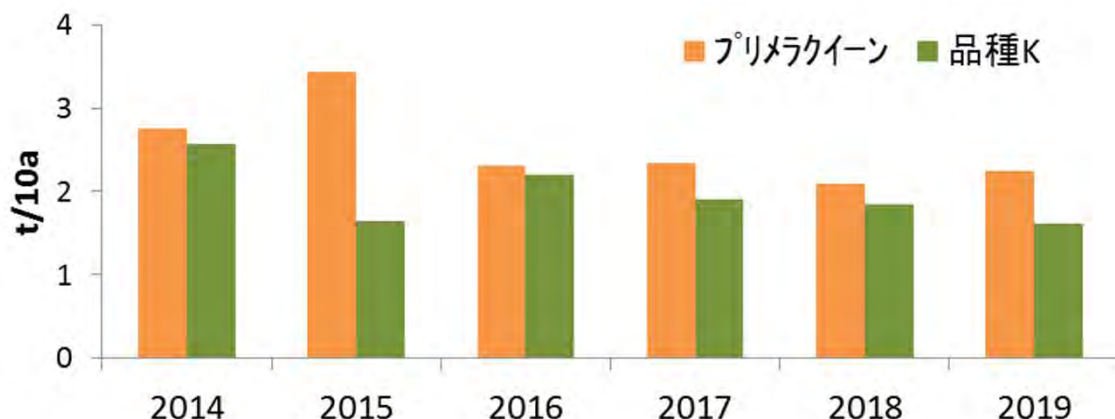
プリメラクイーンの特徴



安定の収量性

栽培試験結果（2014~2019年、北海道）

【耕種概要】5月中旬播種、6月初旬定植、9月上旬収穫、親づる1本整枝、株元整枝後放任栽培





安定した作り易さ

- 素直な生育を示し、つる伸びもスムーズで管理がしやすい。
- 生育中庸で、脇芽も強く出過ぎず整枝がしやすい。
- 根が強く、活着が容易。干ばつ・低温にも耐える。
- 草丈が低く、風に強い（右写真）。
- 雄花、雌花の開花バランスがよく着果性強い。
- 果実肥大力が強く、放任栽培でも十分なサイズが確保できる。天候不順下でも安定して多収となる。



果揃いよく、収益性も抜群

栽培試験結果（2015,北海道）

【耕種概要】5月中旬は種、6月上旬定植、9月中旬収穫、子づる3本仕立て

	着果数 (個/株)	粗反収 (t/10a)	一果重 (kg)	5玉率 (%)	6玉率 (%)	A品 (%)	B品 (%)	花落径 (cm)
プリメクイーン	2.8	1.7	1.9	37	35	76	16	1.7
品種E	2.9	1.3	1.5	7	24	59	33	2.4
品種A	2.4	1.1	1.4	7	11	55	40	2.9
品種K	2.6	1.4	1.7	15	41	38	36	2.5



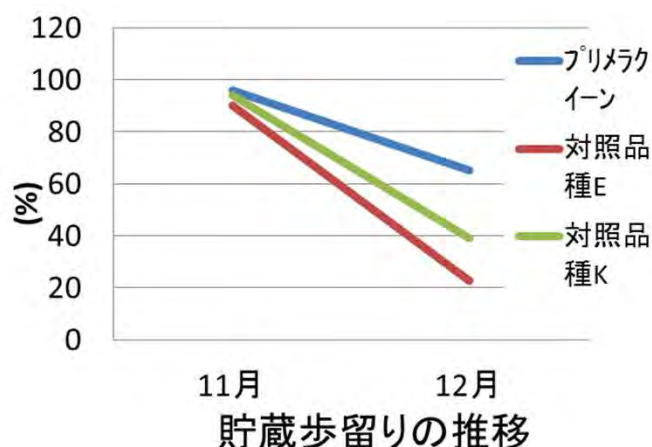
貯蔵性にも優れる

貯蔵試験データ（2016,北海道）

[耕種概要]5月中旬は種、6月上旬定植、9月中旬収穫、子づる3本仕立て。

風乾後、貯蔵庫保管時の貯蔵歩留りの推移

歩留り推移 (%)	11月	12月
プリメクイーン	96.0	65.0
対照品種E	90.0	22.7
対照品種K	94.0	38.9



食味も良い！

食味試験結果(2018)

パネル方式・11名、各1-5点で評価（低1-5高）,11名平均スコア

	プリメクイーン	良食味 品種K	多収品 種K	多収系 品種E
甘さ	3.5	3.1	2.4	3.0
ホクホク	3.2	2.9	2.0	2.5

ホクホク感と甘味のバランスがよく高評価。収穫後1ヶ月程度で食べ頃に。

朝日のカボチャ～早生品種のご紹介～

強粉質の早生種・果揃いよく多収

プリメラエース

(AJ-133)

【特 徴】

- 1.果実は1.8kgの大玉種。整った偏円形で果皮色は大変濃い。
- 2.交配後40～45日で収穫できる早生品種。
- 3.花粉が大変多く、寒い時期でも着果が安定する。雌花の着生も安定しており、多収。
- 4.果肉は肉厚、肉質は強粉質で、メルティング質で大変おいしい。
- 5.中葉で葉柄も短く、葉折れ・倒伏少なく風に強い。
- 6.1ヶ月以上貯蔵すると皮が固くなることがあるので注意する。

強粉質で抜群に
おいしい早生品種



圧倒的肥大力！
作り易い早生品種

収穫してすぐに出荷できる早生大玉種

プリメラビスタ

(AJ-134)

【特 徴】

- 1.果実は1.8～2.0kgで整った偏円形。果実表面の凹凸少なく磨き作業が容易。
- 2.交配後40～45日で収穫できる早生品種。
- 3.花粉も多く、雌花の着生も安定しており多収で安定。
- 4.やや大葉、葉柄は短く、葉折れ・倒伏少なく風に強い。
- 5.果肉は肉厚で肉質は粉粘質で、収穫後1週間程度のキュアリングで出荷できる。



～フリメラエース・ビスタ特徴～



安定の収量性

栽培試験結果（2017～2020）

試験地：埼玉県神川町・北海道士別市・北海道森町・沖縄県宮古島市

	埼玉 2017	埼玉 2018	埼玉 2019	宮古島 2019	埼玉 2020	士別 2020	森 2020
エース	1.54	3.30	1.44	1.51	1.60	2.35	2.67
ビスタ	-	-	1.56	1.47	1.63	2.66	2.91
品種A	1.15	3.00	1.22	1.33	1.38	2.18	-

玉肥大が安定しており、天候不順下でも安定した収量



形状よく、玉揃い抜群

安定した肥大性で、5-6玉割合が非常に高い

表：5-6玉割合（%、試験地：北海道）

5-6玉割合(%)	2018	1果重(平均,g)
エース	82%	1913g
対照品種	40%	1683g

5-6玉割合(%)	2019	2020
ビスタ	83%	83%
対照品種	68%	66%



2020年北海道
果揃いよく、5-6玉80%以上（聞き取り）

肥大が安定しているため、小玉（1.5kg以下）が少なく、5-6玉で揃う



安定した作り易さ

- 生育中庸、脇芽も強く出過ぎず整枝がしやすい。
- 雄花、雌花の開花バランスがよく、着果性強い。
- 果実肥大力が強く、早生品種でも5-6玉でまとまる。



フリメラエース・ビスタの特徴まとめ

- 交配後40日で収穫できる早生品種
- 玉肥大が安定しており、早生品種としては非常に多収
- 栽培にクセがなく作り易い。
- 非常に果揃いがよく、5-6玉中心に揃う
- エースは粉質度高く、相場を見ながらの出荷が可能
- ビスタは収穫後すぐにおいしい

プリメララインナップ

品 種	特 性	作 型	早晩性
プリメラ115	肥大性抜群！栽培容易花粉多い	抑制・促成栽培、立作り栽培	中生～中晩生
プリメラクイーン	栽培容易 ホクホク良食味	促成・抑制栽培	中生
プリメラエース 【新発売】	交配後40日収穫 粉質でおいしい	トンネル・促成	早生
プリメラビスタ 【新発売】	交配後40日収穫 粉質でおいしい	トンネル・促成	早生
プリメラ117	短節間・とってすぐおいしい早出し向け・肥大性抜群	促成・抑制栽培	中早生
AJ-137 【予告品種】	短節間 5-6玉 強粉質でおいしい	促成・抑制栽培	中生
AJ-139 【予告品種】	短節間 4-5玉 強粉質でおいしい	促成・抑制栽培	中生～中晩性
プリメラレッド	鮮やかな赤皮 超多収・早生	促成栽培	早生
プリメラホワイト	6-7玉で揃って扱いやすい白皮	促成栽培	中生～中晩生